



岩手県立平泉世界遺産ガイドセンター一年報

令和3年度・令和4年度

目 次

年報の発行にあたって	1
沿革	2
施設の概要	3
事業等の概要	
常設展示	4
企画展	5
講座	8
体験教室	10
イベント	10
学校・団体受入実績	12
調査研究活動	14
岩手大学との共同研究展	14
セミナー	14
WEB 授業	15
情報発信	18
広報実績	20
来館者アンケート	23
来館者数	27
施設の運営形態	29
基本理念、基本方針	31
関係条例及び規則	32
運営協議会	39

年報の発行にあたって

岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンターは、世界遺産「平泉」の価値を広く世界中に伝え、人類共通の財産として後世へ継承するための拠点となる施設として、令和3年11月20日に開館しました。

当センターでは、世界遺産「平泉」の構成資産及び関連する遺跡への周遊の出発点として、その価値や特徴を分かりやすく伝えるとともに、柳之御所遺跡から出土した資料の展示・収蔵、平泉文化に関わる調査研究を行っています。

この度、開館から令和4年度までの取組をまとめ、年報を作成いたしました。令和5年度からは指定管理者制度を導入し、より魅力ある施設となるよう取り組んでいます。

開館に御尽力いただいた多くの皆様に感謝申し上げますとともに、今後とも一層の御指導と御協力をお願い申し上げます。

令和5年12月

岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター

館長 菅野 洋樹

沿革

- 平成23年6月 「平泉の文化遺産」世界遺産登録
資産名：平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—
構成資産：中尊寺、毛越寺、観自在王院跡、無量光院跡、金鶏山
- 平成29年7月 「平泉の文化遺産」ガイドンス施設(仮称)整備基本構想策定
- 平成30年3月 「柳之御所遺跡整備計画（平成29年度版）」策定
- 平成30年6月 「平泉の文化遺産」ガイドンス施設(仮称)基本計画策定
- 平成30年9月 平泉遺跡群調査整備指導委員会において遺産影響評価を実施
- 平成31年3月 建築設計業務完了（(株)三衡設計舎）
展示基本設計業務完了（(株)丹青社）
- 令和2年3月 展示実施設計業務完了（(株)丹青社）
- 令和3年4月 機械設備工事竣工（(株)近藤設備、工期R1.11.19～R3.5.11）
建築工事竣工（(株)平野組、工期R1.10.26～R3.4.17）
電気設備工事竣工（(株)電友社、工期R1.11.19～R3.5.11）
- 令和3年7月 平泉世界遺産ガイドンスセンター条例制定
- 令和3年9月 展示製作業務完了（(株)丹青社、期間R2.7.7～R3.9.30）
- 令和3年11月 開館（20日）**
- 令和4年5月 来館者1万人達成（19日）
- 令和5年2月 来館者3万人達成（4日）
- 令和5年4月 指定管理者制度導入
利用料金制度導入

開館記念式典

日時 令和3年11月20日（土） 10:30～11:50

出席者 約60名

- 次第
- ① 開式
 - ② 式辞 岩手県知事
 - ③ 祝辞 文化庁長官（代理）、県議会議長、平泉町長
 - ④ 施設紹介 平泉世界遺産ガイドンスセンター館長
 - ⑤ テープカット 岩手県知事、名誉館長、中尊寺貫首、毛越寺貫主、平泉遺跡群調査整備指導委員会委員長 田辺征夫
 - ⑥ 閉式

※ 閉式後、館内へ移動し『毛越寺「延年の舞」』を観覧後、施設見学を実施



事業等の概要

I 常設展示

1 平泉インフォメーション

世界遺産「平泉」を語る上で、まず知っておくべき基礎知識を紹介するとともに、「平泉の文化遺産」めぐりや世界遺産の概要などの情報を提供。

- ・フィールドガイド（広域衛星写真）
- ・未来へつなぐ世界遺産（岩手県内の世界遺産の紹介含む）
- ・インフォメーション

2 プロローグ

プロローグシアターで、世界遺産の価値や仏国土（浄土）の世界観を、ワイドスクリーンと床面映像により紹介。

- ・平泉と仏教 関連年表
- ・仏教伝来マップ
- ・プロローグシアター

3 平泉の世界

世界遺産に登録された資産と関連する遺跡の紹介をはじめ、奥州藤原氏による現世の仏国土（浄土）の表現とその歩みを探る。

- ・平泉はなぜ世界遺産なのか。
- ・「平泉」構成資産と関連資産 解説グラフィック
- ・供養願文解説
- ・毛越寺池中立石模型
- ・仏国土（浄土）平泉を眺める（地形模型を使ったプロジェクションマッピング）
- ・奥州藤原氏デジタル絵巻

4 柳之御所遺跡と奥州藤原氏

奥州藤原氏の政庁・居館であった「平泉館」の様子をパノラマイラストやジオラマにより再現。また、カテゴリ一別の出土資料展示で柳之御所遺跡を解明。

- ・よみがえる平泉館（復元模型）
- ・「平泉館」の四季と人々の営み（インタラクティブコンテンツ）
- ・奥州藤原氏と平泉（藤原氏のアニメ含む）
- ・平泉館を解き明かす
- ・遺す・伝える 柳之御所遺跡

5 体験・展望展示

柳之御所遺跡発掘の様子や、史跡公園の見どころをわかりやすく紹介。

- ・平泉ランドスケープ
- ・発掘調査ってどんなもの
- ・床下展示

II 企画展

【令和3年度】

1 岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター開館記念企画展

「奥州藤原氏が観た東方浄瑠璃世界 ―赤沢七仏薬師―」

(1) 開催期間

令和3年11月20日(土)～令和4年2月13日(日)

(2) 内容・主な展示物

令和2年に保存修復作業が完了し、12世紀の制作当初の姿となった赤沢七仏薬師如来立像の展示を通じて、奥州藤原氏の構想した仏国土の一端を紹介し、平泉文化の理念を広く理解してもらおう。

(3) 展示解説会

ア 令和3年11月23日(火・祝) 13:00～14:00 参加者18名

イ 令和4年1月15日(土) 13:00～14:00 参加者18名

ウ 令和4年2月12日(土) 13:00～14:00 参加者20名

【令和4年度】

1 平泉・橋野・御所野 ―岩手県内の3つの世界遺産―

(1) 開催期間

令和4年3月26日(土)～5月29日(日)

(2) 内容・主な展示物

令和3年に御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録され岩手県内の世界遺産は「平泉」・「橋野鉄鉱山」と合わせて3件となった。今回、新たに送付された「縄文遺跡群」登録認定書を披露するとともに、「平泉」・「橋野鉄鉱山」・「御所野遺跡」の概要をパネル展示により紹介する。

(3) 関連特別講座

ア 令和4年4月16日(土) 14:00～15:00

【テーマ】「2つの世界遺産―世界遺産とユネスコ無形文化遺産、平泉を見る視点―」

【講師】 櫻井友梓氏(岩手県文化スポーツ部文化振興課主査)

【受講者】 7名

イ 令和4年4月23日(土) 14:00～15:00

【テーマ】「世界遺産平泉の価値と調査研究」

【講師】 戸根貴之(当センター上席文化財専門員)

【受講者】 6名

ウ 令和4年5月14日(土) 14:00～15:00

【テーマ】「橋野鉄鉱山といわたの製鉄史」

【講師】 森一欽氏(釜石市文化スポーツ部世界遺産課課長補佐兼世界遺産係長)

【受講者】 11名

エ 令和4年5月21日(土) 14:00～15:00

【テーマ】「御所野遺跡といわたの縄文文化」

【講師】 菅野紀子氏(一戸町教育委員会世界遺産課文化財係長)

【受講者】 17名

2 遠野と平泉—新発見！平泉時代の遺跡を探る—

(1) 開催期間

令和4年7月2日(土)～9月11日(日)

(2) 内容・主な展示物

ア 宮代IV遺跡経塚

- ・ 写真・図版パネル
- ・ 渥美産陶器壺及び青磁碗
- ・ かわらけ(比較のため比爪産かわらけと平泉産かわらけを並べ置き)

イ 居館遺跡 安倍館遺跡

- ・ 写真・図面パネル
- ・ 常滑産三筋壺

ウ 経塚の展開

- ・ サンキョウ塚 図面、写真パネル
- ・ ショウ塚 図面、写真パネル
- ・ 向野経塚 図面、写真パネル

エ 12世紀と先行する仏像

- ・ 善明寺阿弥陀如来坐像(御内仏)(実物借用)
- ・ 善明寺阿弥陀如来坐像(御本尊)写真パネル
- ・ 鞍迫観音堂十一面観音菩薩立像他 写真パネル
- ・ 青笹八幡神社焼損仏 写真パネル

オ 奈良・平安時代の遠野

- ・ 須恵器壺、須恵器瓶、土師器坏、墨書土器、鉄鏃、蕨手刀

(3) 展示解説会(※ 各日とも13:30～14:00)

ア 令和4年7月3日(日) 参加者4名

イ 令和4年8月7日(日) 参加者6名

ウ 令和4年9月11日(日) 参加者12名

(4) 関連講座(※ア及びイは平泉学講座も兼ねている)

ア 令和4年7月2日(土) 13:30～15:00

【テーマ】「三陸の12世紀—田鎖車堂前遺跡などからみた平泉と三陸—」

【講師】福島正和氏(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター主任文化財専門員)

【受講者】29名

イ 令和4年8月6日(土) 13:30～15:00

【テーマ】「平泉時代の遠野—遠野保の発見—」

【講師】斉藤利男氏(弘前大学名誉教授)

【受講者】34名

ウ 令和4年9月3日(土) 13:30～15:00 ※特別講座

【テーマ】「塚と森と～遠野の不地震地伝説～」

【講師】前川さおり氏(遠野市文化課学芸員)

【受講者】26名

3 石のほとけ ―平泉の仏教石造物―（開館一周年記念企画展）

（1）開催期間

令和4年10月15日（土）～12月25日（日）

（2）内容

- ・ 石に表された奥州藤原氏の理念とそれを継承した人々の仏への祈り。
- ・ 磨崖仏、石彫仏、五輪塔、宝塔、板碑など平泉所在の仏教石造物を総合的に紹介。

（3）主な展示物

- ・ 毛越公葬地五輪塔
- ・ 中尊寺願成就院宝塔レプリカ
- ・ 月館大師堂「オダイシ様」画像パネル
- ・ 観自在王院「オンドウ仏」画像パネル
- ・ 達谷窟磨崖仏 実測図パネル（原寸大）
- ・ 最明寺建長八年銘板碑レプリカ
- ・ 毛越寺白王院弘安七年銘板碑
- ・ 泉屋遺跡出土元亨四年銘板碑

（4）展示解説会（※ 各日とも 13:30～14:00）

ア 令和4年10月22日（土） 参加者 18名

イ 令和4年11月5日（土） 参加者 18名

ウ 令和4年12月24日（土） 参加者 6名

（5）関連講座（※ア、イ及びウは平泉学講座も兼ねている）

ア 令和4年10月29日（土）13:30～15:00⇒令和4年12月10日（土）に変更

【テーマ】「平泉の板碑 ―石材から見た様相―」

【講師】畠山篤雄氏（元一関市博物館）

【受講者】32名

イ 令和4年11月26日（土）13:30～15:00

【テーマ】「石の仏像―オンドウ仏―」

【講師】井上雅孝氏（滝沢市埋蔵文化財センター）

【受講者】32名

ウ 令和4年12月17日（土）13:30～15:00

【テーマ】「達谷窟の磨崖仏―阿弥陀如来か大日如来か―」

【講師】羽柴直人（当センター上席専門学芸員）

【受講者】36名

エ 令和4年11月19日（土）13:30～15:00 ※特別講座

【テーマ】「平泉「オデッサン」石像の歴史的な由来―月館大師堂石造―」

【講師】菅野成寛氏（岩手大学平泉文化研究センター客員教授）

【受講者】36名

Ⅲ 講座

【令和3年度】

1 平泉学講座

(1) 日 時

令和3年12月18日(土) 13:30～15:00

(2) 内 容

【テーマ】奥州藤原氏と早池峰信仰

【講師】羽柴直人(当センター上席専門学芸員)

【受講者】17名

2 令和3年度平泉世界遺産ガイダンスセンター特別講座

(1) 日 時

令和4年1月23日(日) 13:30～15:00

(2) 内 容

【テーマ】発掘調査が明らかにした「平泉の文化遺産」ーマクロからミクロまでー

【講師】相原康二氏(えさし郷土文化館館長)

【受講者】20名

3 学芸セミナー

(1) 第1回 令和4年2月27日(日) 14:00～15:00

【テーマ】柳之御所遺跡の除外 ～2011年の第35回世界遺産委員会から～

【講師】佐藤嘉広(当センター副所長)

【受講者】5名

(2) 第2回 令和4年3月21日(月・祝) 16:30～18:00

【テーマ】平泉館と金鶏山 ※史跡公園での実地見学を含む

【講師】戸根貴之(当センター上席文化財専門員)

【受講者】9名

4 岩手大学平泉文化研究センターサテライトセミナー ※岩手大学との共同開催

(1) 日 時

令和4年3月9日(水) 14:00～15:30

(2) 内 容

【テーマ】平泉研究の蓄積と今後の課題

【講師】菅野文夫氏(岩手大学平泉文化研究センター客員教授)

【受講者】10名

【令和4年度】

1 平泉学講座 ※第2回～第6回は企画展等関連講座を兼ねるため再掲

(1) 第1回 令和4年6月11日(土) 13:30～15:00

【テーマ】「平泉出土の須恵器系陶器の謎—エヒバチ長根窯の再評価—」

【講師】八重樫忠郎氏(平泉町志羅山在住)

【受講者】36名

(2) 第2回 令和4年7月2日(土) 13:30～15:00

【テーマ】「三陸の12世紀—田鎖車堂前遺跡などからみた平泉と三陸—」

【講師】福島正和氏(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター主任文化財専門員)

【受講者】29名

(3) 第3回 令和4年8月6日(土) 13:30～15:00

【テーマ】「平泉時代の遠野—遠野保の発見—」

【講師】斉藤利男氏(弘前大学名誉教授)

【受講者】34名

(4) 第4回 令和4年10月29日(土) 13:30～15:00

⇒令和4年12月10日(土)に変更

【テーマ】「平泉の板碑—石材から見た様相—」

【講師】畠山篤雄氏(一関市教育委員会)

【受講者】32名

(5) 第5回 令和4年11月26日(土) 13:30～15:00

【テーマ】「石の仏像—オンドウ仏—」

【講師】井上雅孝氏(滝沢市埋蔵文化財センター)

【受講者】32名

(6) 第6回 令和4年12月17日(土) 13:30～15:00

【テーマ】「達谷窟の磨崖仏—阿弥陀如来か大日如来か—」

【講師】羽柴直人(当センター上席学芸専門員)

【受講者】36名

2 岩手大学サテライトセミナー ※岩手大学との共同開催

(1) 第1回 令和4年6月26日(日) 13:30～15:00

【テーマ】「『義経記』や能に描かれた義経と二人の妻(その1)」

【講師】田中成行氏(岩手大学平泉文化研究センター客員准教授)

【受講者】8名

(2) 第2回 令和4年7月24日(日) 13:30～15:00

【テーマ】「『義経記』や能に描かれた義経と二人の妻(その2)」

【講師】田中成行氏(岩手大学平泉文化研究センター客員准教授)

【受講者】13名

IV 体験教室

平泉文化に関する興味関心を高めるため開催。

【令和3年度】

回数	月 日	内 容	参加者数
1	12月19日（日）	かわらけを作ろう	17名
2	1月16日（日）	かわらけに絵をかこう	19名
3	2月20日（日）	かわらけを作ろう	17名
4	3月20日（日）	かわらけに絵をかこう	17名

※毎回13:30～15:00に開催

【令和4年度】

回数	月 日	内 容	参加者数
1	4月17日（日）	えぼしをつくろう	14名
2	5月15日（日）	起き上がり小法師づくり	15名
3	6月19日（日）	延年の舞のペーパークラフト	15名
4	7月17日（日）	おきなのお面づくり	19名
5	7月31日（日）	延年の舞のペーパークラフト	29名
6	8月21日（日）	磐前村印のストラップづくり	23名
7	10月23日（日）	かわらけをつくろう	20名
8	11月20日（日）	磐前村印のレプリカをつくろう	18名
9	12月18日（日）	かわらけに絵を描こう	11名
10	1月15日（日）	梅花蒔絵の小皿をつくろう	14名
11	2月19日（日）	平安装束のおひなさまをつくろう	13名
12	3月19日（日）	張り子のお面をつくろう	12名

※1 13:30～15:00に開催（第5回を除く）

※2 第5回（7/31）は子供会を対象として実施。時間は10:00～11:10

V イベント

1 来館者1万人達成

【期 日】令和4年5月19日（木）

【1万人目】横須賀市立浦賀中学校3年生の皆さん

【内 容】館長から浦賀中学校の生徒代表の方に記念品を贈呈

【取 材】5社（テレビ、ラジオ、新聞等）

2 平泉世界遺産の日関連イベント

【期 日】令和4年6月25日（土）26日（日）の2日間

【内 容】「ケロ平」一日館長就任、いわての世界遺産ガチャ、「ケロ平」「おもっち」と記念撮影、「ケロ平」と相撲、「岩手の世界遺産ワークブック」プレゼント等

【参加者】444名（2日間の合計）

【取 材】7社（テレビ、ラジオ、新聞等）

3 開館1周年記念いわて世界遺産まつりin平泉

【期 日】 令和4年11月5日（土）6日（日）の2日間

【内 容】 いわての世界遺産オープンスクール、世界遺産ワークショップ、柳之御所cafe、郷土芸能、餅つき&餅振る舞い、ゆるキャラグリーティング、平泉ウォーク、日帰りバスツアー等

【参加者】 1,150名（2日間の合計）

【取 材】 2社（テレビ、新聞）

4 子ども向けミニイベント ガイダンスセンターで遊んで学ぼう！

【期 日】 令和5年2月25日（土）

【内 容】 DVD「みんななかよし平泉」の上映、昔遊び（かるた、輪投げ）、展示解説（子ども向け）、藤原清衡公アニメ上映等

【参加者】 30名

【取 材】 1社（テレビ）

学校・団体受入実績

1 月別団体受入実績（事前予約等による団体対応）※20人以下で解説対応した団体も含む

(1) 令和3年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体									19	13	9	5	10	56
人数									255	237	127	92	334	1,045
うち 一般	団体								15	11	9	4	9	48
	人数								184	187	127	54	102	654
うち 学校	団体								4	2	0	1	1	8
	人数								71	50	0	38	232	391

(2) 令和4年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体		7	25	38	26	16	22	33	27	18	4	6	7	229
人数		45	642	885	608	232	428	776	745	567	70	84	70	5,152
うち 一般	団体	7	22	25	23	13	9	30	15	15	3	4	7	173
	人数	45	277	399	365	181	133	593	259	214	59	58	70	2,653
うち 学校	団体	0	3	13	3	3	13	3	12	3	1	2	0	56
	人数	0	365	486	243	51	295	183	486	353	11	26	0	2,499

2 団体別受入実績

(1) 令和3年度

	一般	学校					合計
		計	うち				
			小学校	中学校	高校	大学・専門学校	
団体数	48	8	2	1	2	3	56
人数	654	391	31	38	265	57	1,045
うち20人以上							
団体数	9	4	0	1	2	1	13
人数	274	337	0	38	265	34	611

(2) 令和4年度

	一般	学校					合計
		計	うち				
			小学校	中学校	高校	大学・専門学校	
団体数	173	56	32	10	6	8	229
人数	2,653	2,499	1,182	763	410	144	5,152
うち20人以上							
団体数	46	34	18	9	4	3	80
人数	1,216	2,218	990	755	390	83	3,434

3 学校団体受入実績（人数）

（1）令和3年度

(人)

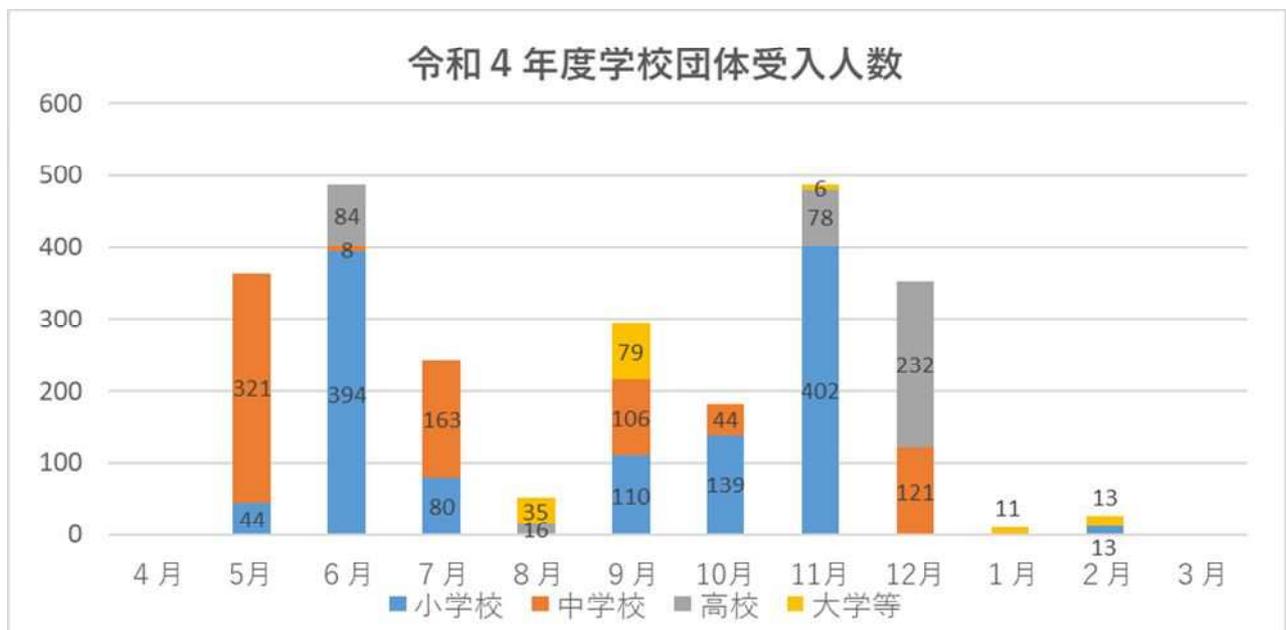
	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学校	15	16	0	0	0	31
中学校	0	0	0	38	0	38
高校	33	0	0	0	232	265
大学等	23	34	0	0	0	57
計	71	50	0	38	232	391



（2）令和4年度

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学校	0	44	394	80	0	110	139	402	0	0	13	0	1,182
中学校	0	321	8	163	0	106	44	0	121	0	0	0	763
高校	0	0	84	0	16	0	0	78	232	0	0	0	410
大学等	0	0	0	0	35	79	0	6	0	11	13	0	144
計	0	365	486	243	51	295	183	486	353	11	26	0	2,499



調査研究活動

1 岩手県と岩手大学との共同研究展（岩手大学との共同開催）

（1）開催期間

令和5年1月28日（土）～3月5日（日）

（2）内容

これまでの岩手大学と県による平泉文化に関する共同研究（平成18年以降）の成果をまとめ、県民へ周知する。

（3）主な展示物

① 展示パネル

- ・ 3Dレーザースキャナを用いた平泉の3次元計測
- ・ 出土陶磁器の国際比較
- ・ 東アジアにおける浄土庭園の比較研究
- ・ 庭園の東・北アジア史的意義の検討
- ・ 平泉出土文字資料の検討
- ・ 平泉遺跡群の検討
- ・ 中国都城における寺院の史料集成
- ・ 平泉との比較研究（1）登封
- ・ 平泉との比較研究（2）ラサ
- ・ 平泉との比較研究（3）元上都
- ・ 世界遺産の保全についての課題共有

② 展示資料

- ・ 3Dレーザースキャナ（実物）
- ・ 3Dレーザースキャナで測量した映像の上映
- ・ 共同研究成果を掲載した研究報告書等
- ・ 柳之御所遺跡出土磁器片
- ・ 岩手大学で保管の陶磁器片

（4）展示解説会

令和5年1月28日（土）13:30～ 参加者 10名

2 岩手大学サテライトセミナー ※再掲

【令和3年度】

日時：令和4年3月9日（水）14:00～15:30

【テーマ】平泉研究の蓄積と今後の課題

【講師】菅野文夫氏（岩手大学平泉文化研究センター客員教授）

【受講者】10名

【令和4年度】

(1) 第1回 令和4年6月26日(日) 13:30~15:00

【テーマ】『義経記』や能に描かれた義経と二人の妻(その1)」

【講師】田中成行氏(岩手大学平泉文化研究センター客員准教授)

【受講者】8名

(2) 第2回 令和4年7月24日(日) 13:30~15:00

【テーマ】『義経記』や能に描かれた義経と二人の妻(その2)」

【講師】田中成行氏(岩手大学平泉文化研究センター客員准教授)

【受講者】13名

3 資料の貸出し

(1) 神奈川県立歴史博物館

【貸出資料】人面墨書かわらけ、「人々給絹日記」墨書折敷、金鉾石

【貸出期間】令和4年9月20日~令和4年12月20日

【貸出理由】神奈川県立歴史博物館の2022年度特別展「源頼朝が愛した幻の大寺院永福寺と鎌倉御家人一荘厳される鎌倉幕府とその広がり」での展示で使用。

(2) 埼玉県立嵐山史跡の博物館

【貸出資料】かわらけ12点、中国産陶器壺

【貸出期間】令和4年9月23日~令和4年11月28日

【貸出理由】埼玉県立嵐山史跡の博物館の企画展「武蔵武士と源氏—鎌倉殿誕生の時代」での展示に使用。

(3) 遠野まちなかドキ土器館(遠野市博物館分室)

【貸出資料】ロクロかわらけ、企画展「遠野と平泉」で使用した写真パネル等

【貸出期間】令和4年10月7日~令和5年3月31日

【貸出理由】令和4年度遠野まちなかドキ土器館特別展「遠野と平泉」の展示で使用。

4 柳之御所遺跡発掘(第84次調査)

(1) 調査期間: 令和4年6月1日から令和4年10月31日

(2) 現場報告会: 令和4年10月25日(火) 午前、午後各1回、参加者48名

(3) 調査結果: 別紙のとおり

5 Web授業(試行中)

(1) 修学旅行の事前学習

- ・ 雫石町立七ツ森小学校6年生(令和4年9月5日)
- ・ 関西大学初等部6年生(令和4年10月17日)

(2) 日本史の授業 ※岩手大学との共同研究

- ・ 盛岡市立上田中学校1年生(令和4年2月22日及び令和4年12月7日)

4. 出土遺物

総出土量は、40Lサイズ整理箱3箱ほどで、遺構を掘り下げていないため出土量は多くはありません。おもな出土遺物は、かわらけ・国産陶器（常滑焼・渥美焼など）輸入陶磁器（白磁・青磁）などで、平泉特有の破片は、特筆すべき遺物です。



渥美刻面文陶器



かわらけ



国産陶器

5. 調査成果

調査の結果、道路跡の北側には大型の四面庇建物しめんひさしを含む建物跡や井戸跡・溝跡などが配置されていることがわかりました。これは従来から考えられてきたように、この場所が「屋敷」として利用されていたことと矛盾しません。加えて、規模の大きな建物跡が含まれていることから、比較的身分の高い人たちが居住していた可能性が考えられます。今後も調査をかさねながら、堀外部地区の機能について検討していきたいと思えます。

岩手県教育委員会では、今後堀外部地区の整備事業を進めていく予定であり、今回の調査によって、その貴重な資料を得ることができたと考えています。調査は来年度も計画しておりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。



編集・発行 岩手県教育委員会 ©2022

国指定史跡

柳之御所遺跡

—第84次調査—

現地公開資料

1. はじめに

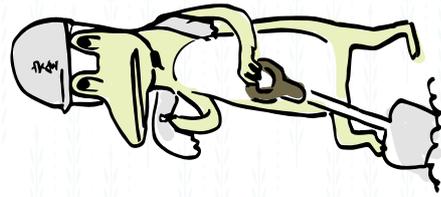
柳之御所遺跡は平泉の中心部に位置し、北上川沿いの段丘面上に立地します。大規模な堀に区画された内部（以下、堀内部地区）と、その外側（以下、堀外部地区）の大きく2つに分かれます。これまでの発掘調査により、奥州藤原氏が築いた平泉文化の実像が多くの遺構・遺物により示され、『吾妻鏡』に記されている奥州藤原氏の政庁「平泉館（ひらいずみのたち）」であると考えられました。

遺跡の価値が明らかになったことから、平成9年（1997年）に国の史跡に指定され、岩手県教育委員会では、平成10年（1998年）度から遺跡の内容の把握と整備に係る情報収集を目的として、柳之御所遺跡の発掘調査を継続しています。平成30年（2018年）度からは堀内部地区に続き、堀外部地区の発掘調査を実施しているところです。

堀外部地区は、奥州藤原氏の一族や家臣団の屋敷地などとする見解もありますが、未調査の範囲も多く、当時の様子が不明な部分も残されています。今年度の第84次調査では、昨年度まで調査を行っていた中尊寺と柳之御所遺跡を結ぶ道路状遺構の北側について、①区画のありかたや年代②区画内の遺構の様相③道路状遺構と内側の堀との関係を把握することを目的として調査を行いました。

2. 調査要項

■ 調査期間	令和4年6月1日～10月31日
■ 調査面積	約1,000㎡
■ 調査機関	岩手県教育委員会



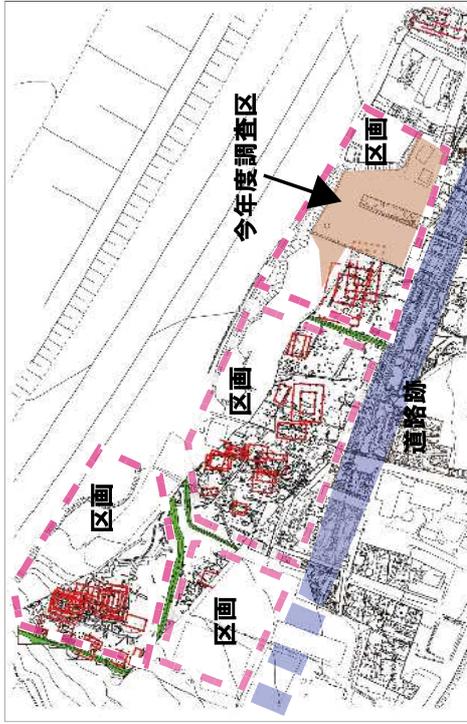
3. 検出遺構

調査の結果、以下の遺構が確認できました。

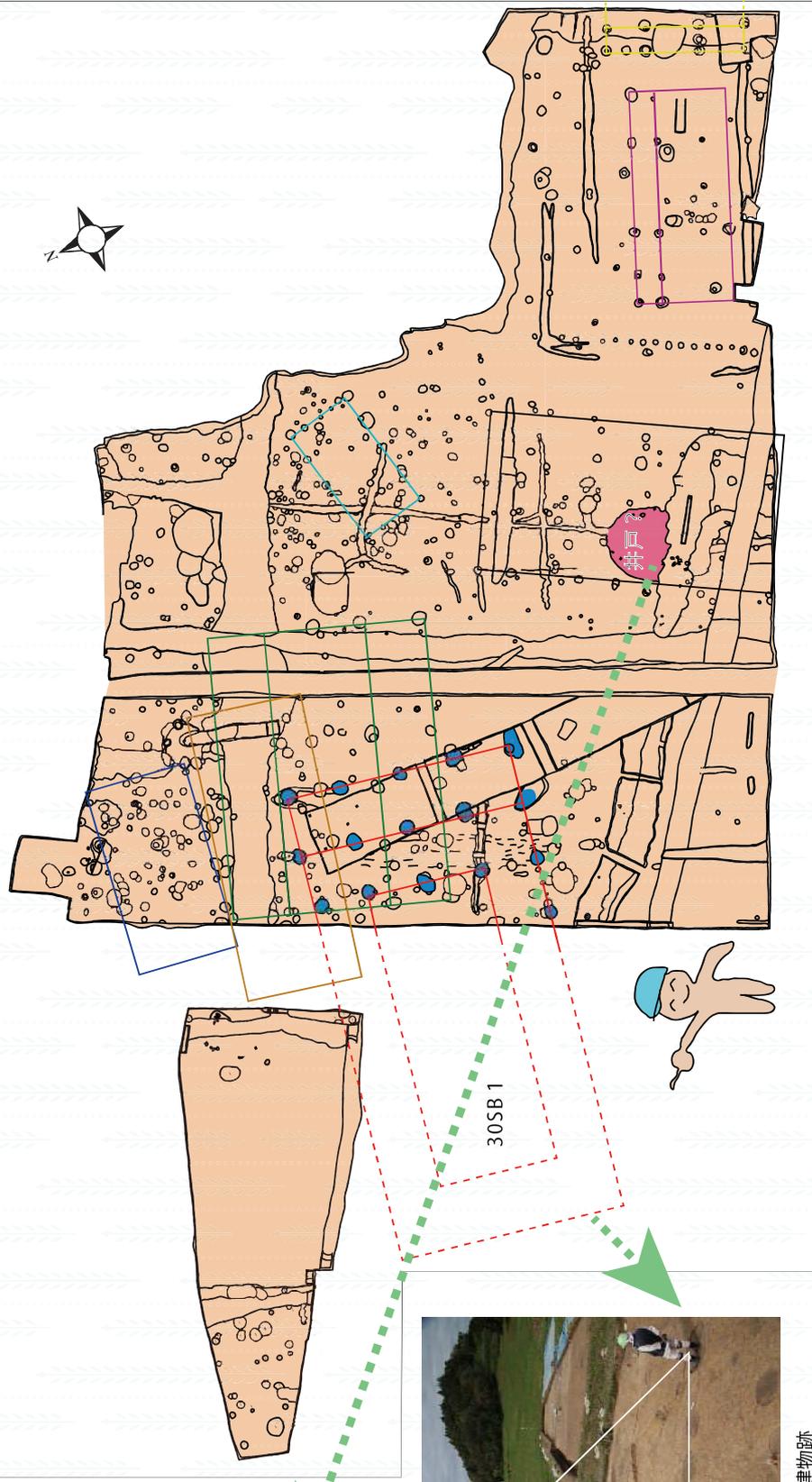
- 掘立柱建物跡・・・3棟以上
- 柱穴・・・650個
- 溝跡・・・27条
- 土坑・不明遺構（井戸跡含む）・18基

■おもな成果としては以下のとおりです

- 堀外部地区における最大級の建物跡（30SB1）の再確認。
今回の調査ではこの建物の一部を調査し、さらに大きくなることがわかりました（柱穴列が1列追加）。4間×9間の規模で、床面積は約225㎡もあります。これは堀内部地区の大型建物跡と比べても見劣りしないものです。
- 昭和44年に調査された第6次調査（藤島亥治郎氏ら平泉遺跡調査会による）でのトレンチ跡を再検出。
平泉を古くから調査してきた先人の方々の業績に敬意を表するとともに、柳之御所遺跡の発掘調査が50年以上にもわたり続けられていることに、あらためて驚きを感じています。



遺構配置図



▲井戸跡の断面写真



▲30SB1 堀外部地区最大級の建物跡

情報発信

1 ホームページ

企画展や平泉学講座の開催情報や開館時間・休館日の運営状況、団体予約方法等を随時掲載及び更新している。

2 Twitter

- ・ フォロワー 668 (R5. 3. 31現在) ※ (R4年3月末フォロワー185)
- ・ 毎日1回以上ツイート
- ・ 町内のイベントや行事なども積極的に掲載

3 ガイダンスだより

企画展、体験教室、講座等の情報を掲載し、これまで7回発行
(不定期、令和3年度2回、令和4年度5回)

4 テレビ放映、掲載記事実績等(主なもの)

(1) テレビ・ラジオ

- ・ NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」本編終了後の「紀行」第20回(令和4年5月22日放送)
- ・ BS11「偉人・素顔の履歴書」藤原秀衡(令和4年10月8日放送)
- ・ その他、岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日放送、一関ケーブルネットワーク、FM岩手等によるイベント情報等の発信

(2) 新聞・雑誌

- ・ 岩手日日(イベント、企画展、講座等)
- ・ 岩手日報(イベント、企画展、発掘調査現地公開等)
- ・ 読売新聞日曜版(当センターの紹介、柳之御所遺跡等)
- ・ 毎日新聞(柳之御所発掘現場)
- ・ 神戸新聞(花巻～神戸線利用促進タイアップ記事で当センターの紹介)
- ・ いわにちりビングu n(当センター紹介記事)
- ・ 岩手宝国(当センター紹介)
- ・ 雑誌「一個人」2022夏号(平泉の紹介の一部に当センター紹介)
- ・ K a p p o 仙台闊歩7月号(平泉の紹介の一部に当センター紹介)
- ・ 月刊Oh!Shun5月号(当センター紹介)
- ・ 教育旅行令和5年1月号(当センター・柳之御所遺跡の紹介)
- ・ 広報ひらいずみ3～6月号(当センター紹介)

(3) ホームページ等

- ・ GO!ETC(ETCの総合ポータルサイト)ホームページ(平泉スマートインターチェンジ周辺おすすめスポット記事に当センター紹介)

- ・ 世界遺産リレー催事による日本文化発信プロジェクト（動画に当センター紹介）

5 Web授業（試行中）

（1） 修学旅行の事前学習

- ・ 雫石町立七ツ森小学校6年生（令和4年9月5日）
- ・ 関西大学初等部6年生（令和4年10月17日）

（2） 歴史の授業 ※岩手大学との共同研究

- ・ 盛岡市立上田中学校1年生（令和4年2月22日及び令和4年12月7日）

6 来館前の事前学習（出前授業）

- ・ 平泉町立平泉小学校5・6年生（令和4年5月11日）
- ・ 奥州市立胆沢中学校1年生（令和4年6月7日）

7 せかダンクイズ

来館する子どもに向けたクイズを毎月発行。クイズにチャレンジして楽しみながら館内を見学。クイズの回答を見せてくれた子どもにケロ平シールをプレゼント。

8 教育旅行商談会参加

- ・ 令和4年11月10日（木）
大阪市において、岩手県観光協会主催の商談会に参加。
- ・ 令和5年2月2日（木）
岩手県観光協会主催の商談会にZoomによるオンライン参加

9 スタンプラリー等への協力

（1） イシツブテスタンプラリー2022

【期 間】 令和4年7月1日（日）～令和4年9月30日（金）

【実施主体】 いわて観光キャンペーン推進協議会

【内 容】 県内33か所のスタンプ場所の一つ（県内各市町村1か所）

（2） 北東北三県大型観光キャンペーン「北東北三県謎解きスタンプラリー」

【期 間】 令和4年8月1日（月）～令和4年8月31日（水）

【実施主体】 北東北三県観光立県推進協議会、JR東日本盛岡支社、秋田支社

【内 容】 各県10スポット（二次元バーコード設置）のうちの一つ

（3） 平泉奥州一関 謎解き周遊キャンペーン

【期 間】 令和4年12月1日（木）～令和5年2月28日（火）

【実施主体】 世界遺産連携推進実行委員会

【内 容】 6か所の謎解きスポットの一つ。ステッカープレゼント。

広報実績

【令和3年度】

No.	時期等	媒体区分	内容
1	10月15日	ラジオ	エフエム岩手「ユウガッタ カルチャー」
2	10月27日～11月17日	現地	内覧会（13回 177人参加（うち報道機関 22人））
3	11月20日	新聞	開館記念新聞広告（岩手日報、岩手日日新聞社）
4	11月22日	テレビ	TVI「ニュースプラス1」生中継
5	11月22日～11月27日	テレビ	いわてわんこ広報室
6	11月24日	ラジオ	IBCラジオ「684です！こんにちは」
7	11月1日	広報誌	広報「ひらいずみ」
8	12月7日	ラジオ	エフエム岩手「夕刊ラジオ」
9	12月10日	広報誌	いわてグラフ12月号
10	12月10日～2月15日	電車中吊広告	・JR東日本（東北本線、東北本線、八戸線）
11			・IGRいわて銀河鉄道 全線
12			・三陸鉄道
13	12月11日	テレビ	めんこいテレビ「山海漬」
14	12月20日～3月27日	展示	東北電力グリーンプラザ（とうほく文化情報コーナー）にて平泉に関する常設展示の一部
15	12月24日	広報誌	広報「いちのへ」
16	12月27日	新聞	岩手日報「輝きをつなぐ人 平泉世界文化遺産登録10年 ガイダンスセンター解説員レドナジェニファーさん」
17	1月1日	雑誌	建設総合情報誌「東北ジャーナル」グラビア
18	1月3日	雑誌	週刊トラベルジャーナル
19	1月7日	新聞	岩手日報「ひと」 平泉世界遺産ガイダンスセンターの館長 菅野洋樹さん
20	1月13日	広報誌	広報「おうしゅう」
21	1月15日	広報誌	広報「みやこ」
22	1月25日	広報誌	広報「すみた」
23	1月28日	広報誌	広報「きたかみ」
24	2月中	ホームページ	まなび旅HP掲載（一社）東北観光推進機構
25	2月16日	ポスター	「3つの世界遺産」ポスターの下部でセンター紹介を掲載（文化振興課「世界遺産価値普及事業」）
26	2月19日～	ホームページ	電子雑誌「旅色」内のコンテンツ「みんなの旅プラン」
27	2月28日	雑誌	「いわて文化財」286号 企画展開催情報
28	3月1日	広報誌	広報「ひらいずみ」 平泉を掘る ガイダンスセンター紹介①
29	3月7日	ラジオ	FM岩手「世界遺産平泉」2/27学芸セミナー
30	3月8日	ラジオ	IBCラジオ「ワイドステーション」館長出演（電話生出演）
31	3月15日	ラジオ	IBCラジオ「ワイドステーション」館長出演（電話生出演）
32	3月号	雑誌	るるぶ東北
33	3月28日	ラジオ	FM岩手「世界遺産平泉」3/21学芸セミナー
34	3月23日	雑誌	生活情報誌「読売ファミリー」（近畿全域に配布するもの）
35	3月26日	新聞	岩手日日新聞 3/25開催運営協議会記事
36	3月中	ホームページ	「南いわて・北みやぎドライブマップ」

【令和4年度】

No.	時期等	媒体区分	内容
1	4月1日	広報誌	広報「ひらいずみ」 平泉を掘る ガイダンスセンター紹介②
2	4月16日～5月15日	チラシ	高速道路サービスエリア配置リーフレットチラシ広告
3	4月15日	テレビ	TVI「ニュースプラス1」企画展紹介
4	4月16日	テレビ	IBC「じゃじゃじゃTV」
5	4月から	ホームページ	トリップアドバイザー掲載
6	4月20日～11月30日	スタンプラリー	NEXCO東日本広域観光促進施策「旅しよう！東北6県スマホスタンプラリー」
7	5月1日	広報誌	広報「ひらいずみ」 平泉を掘る ガイダンスセンター紹介③
8	5月号	雑誌	月刊誌「教育旅行」
9	5月号	雑誌	月刊Oh!Shun 平泉観光協会全面協力「平泉をふかぼり」
10	5月12日	新聞	岩手日報「県内3世界遺産を紹介 ガイダンスセンターで企画展14、21日には講座」
11	5月13日号	新聞チラシ	岩手日日リビングUN 旅 「平泉」を分かりやすく紹介
12	5月16日	新聞	岩手日日「本県製鉄史に理解 平泉で世界遺産特別講座」
13	5月19日	テレビ	めんこいテレビ、IBC岩手放送「来館者1万人達成」
14	5月20日	新聞	岩手日報、岩手日日「来館者1万人達成」
15	5月22日	新聞	岩手日日「縄文人は自然観察者 平泉ガイダンスセンター講座 御所野遺跡など紹介」
16	5月	雑誌	「博物館研究」5月号新館紹介
17	6月1日	広報誌	広報「ひらいずみ」 平泉を掘る ガイダンスセンター紹介④
18	6月1日	広報誌	広報「ひらいずみ」 平泉世界遺産ガイダンスセンター来館者1万人
19	6月5日	ラジオ	IBCラジオ「第14回IBCラジオ平泉ウォーク」館内から生中継
20	6月20日	新聞	岩手日日「世界遺産の日周知イベント25、26日」
21	6月26日	新聞	岩手日報、岩手日日「世界遺産知ってケロ」
22	6月頃	ホームページ	世界遺産リーレー催事による日本文化発信プロジェクト(動画)
23	7月1日発行	雑誌	「K a p p o (仙台闊歩)」7月号(隔月刊) 平泉
24	7月1日発行	雑誌	「一個人」夏号
25	7月6日	新聞	岩手日日「遠野と平泉 関連は 出土品や仏像70点」
26	7月16日発行	観光誌	「岩手宝国」
27	7月16日～8月15日	チラシ	高速道路サービスエリア配置リーフレットチラシ広告
28	7月16日	新聞	岩手日報、岩手日日、東海新報「いわてわんこ広報室」内 企画展「遠野と平泉」開催中！
29	7月18日、20日、21日、23日	テレビ	IBC、TVI、MIT「岩手県からのお知らせ」 企画展「遠野と平泉」
30	8月1日	広報誌	広報「ひらいずみ」 ケロ平が一日館長として来館者と交流
31	8月7日	新聞	毎日新聞日曜クラブ「芭蕉の道」平泉 追加登録の夢いかに
32	9月1日～約3か月	雑誌	道の駅フリーペーパー東北版広告
33	9月8日	新聞	花巻～神戸線利用促進タイアップ記事内
34	9月25日	新聞	読売新聞日曜版よみほつと「旅を旅して」平泉
35	10月12日	新聞	岩手日日「仏教石造物紹介平泉・ガイダンスセ15日から企画展」
36	10月14日	ラジオ	IBCラジオ「一周年記念企画展開催のお知らせ」
37	10月22日	新聞	岩手日報「堀の外側に大型建物跡 平泉・柳之御所遺跡 25日に発掘現場公開」
38	10月26日	新聞	岩手日日「堀外部の建物跡公開 柳之御所遺跡 第84次調査説明会」
39	10月26日	ラジオ	IBCラジオ684現地インタビュー 世界遺産まつりPR 於：平泉観光協会
40	10月頃	ホームページ	ナビタイムトラベル 平泉世遺産ガイダンスセンター https://travel.navitime.com/ja/area/jp/spot/02301-pn0001308/

【令和4年度】

No.	時期等	媒体区分	内容
41	11月4日	テレビ	テレビ岩手ごきげんテレビ・きんток「平泉文化を楽しく学ぼう」(世界遺産まつりPR)
42	11月3日	ラジオ	IBCラジオ684現地インタビュー 世界遺産まつりPR
43	11月6日	新聞	岩手日報、岩手日日「県内世界遺産 価値や魅力発信 平泉でまつり」
44	11月13日	新聞	岩手日日「市消防本部がAED標章交付 平泉ガイダンスセンターに」
45	11月頃	ホームページ	GO!ETC(ETCの総合ポータルサイト) 平泉スマートインターチェンジ周辺お勧めスポット記事 https://www.go-etc.jp/gosmartic/145_hiraizumi/index.html
46	1月号	雑誌	月刊誌「教育旅行」
47	1月10日	新聞	岩手日日「来年度指定管理移行 県立平泉世界遺産ガイダンスセンター 1団体が応募」
48	1月28日	新聞	岩手日日「指定管理候補者選定 平泉世界遺産ガイダンスセンター 県、文化振興事業団に」
49	1月29日	新聞	岩手日日「計測機器や出土品紹介 世界遺産ガイダンスセンター 県と岩手大 平泉共同研究展始まる」
50	3月1日～約3か月	雑誌	道の駅フリーペーパー東北版広告
51	3月28日	広報誌	広報「おうしゅう」3月お知らせ版 ガイダンスセンター有料化のお知らせ
52	3月31日	新聞	岩手日報、岩手日日 ガイダンスセンター有料化のお知らせ

学校団体来館者アンケート結果

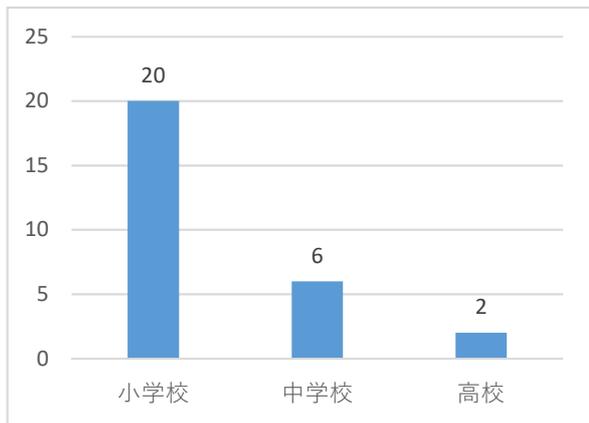
対象：開館時から令和4年11月までに団体で来館した小27中9高4の計40校

回答数：28校（70%）

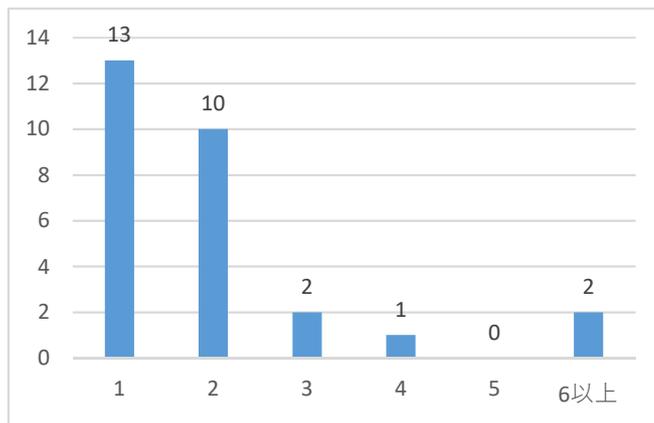
実施時期：令和4年11月

実施方法：郵送による。選択肢及び自由記載。回答は郵送、FAX。

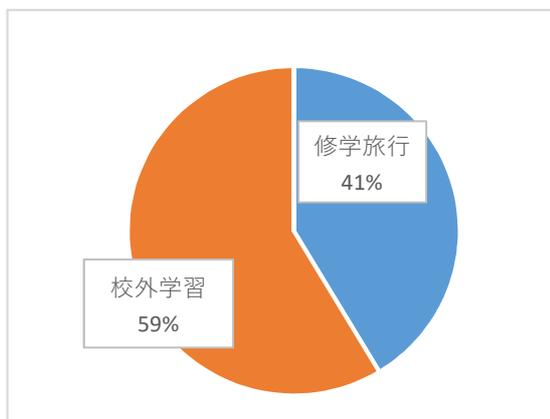
1 学校種別



2 クラス数

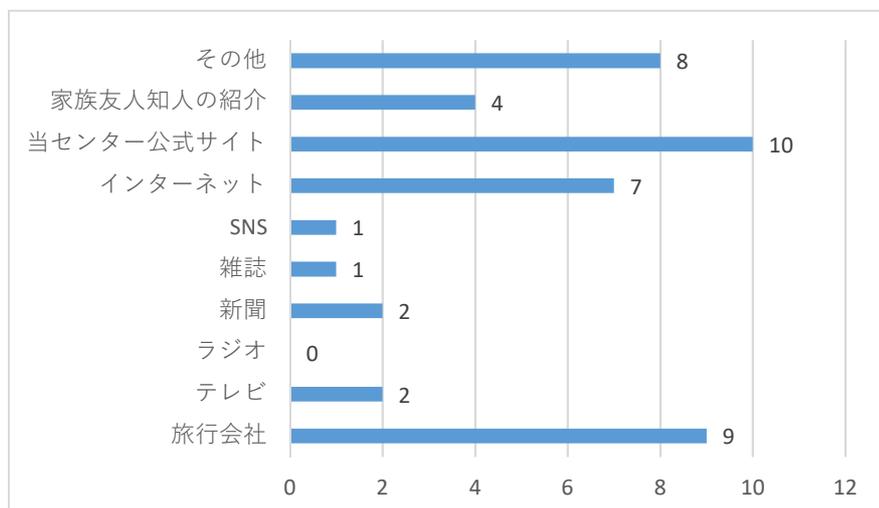


3 来館目的



- ・ 小学校20、中学校6、高校2から回答あり。
- ・ 小学校は1、2クラスがほとんど。
- ・ 校外学習が修学旅行を上回った。

4 センター認知媒体（複数回答）



修学旅行は旅行会社が多かった。
校外学習は当センター公式サイト
やインターネットが多かった。

その他の詳細

- ・ 平泉に赴任した同僚の紹介
- ・ 平泉町在住の先生の紹介
- ・ 町内の施設だったので
- ・ 岩手県観光協会
- ・ 道の駅で紹介されて
- ・ 文化遺産センターで紹介されて

5 満足度

どの項目も総じて満足度が高かった。

【理由欄】

かなり満足

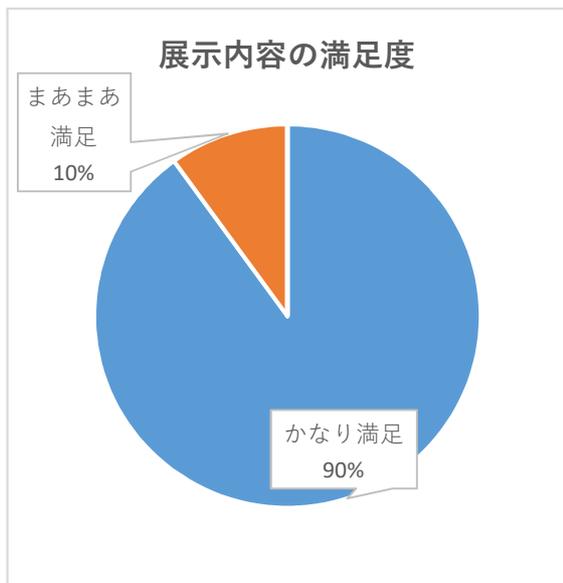
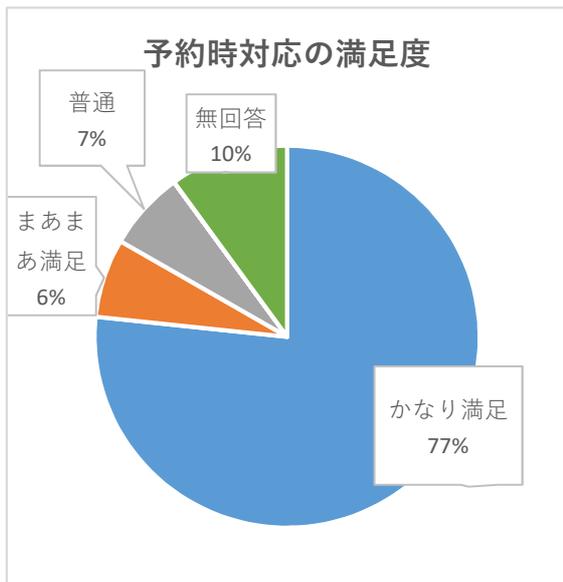
- ・ 時間配分について詳しく助言していただいたから。
- ・ 下見の際、非常に丁寧だったため。
- ・ 日にちの変更に対応していただいた。
- ・ 限られた時間の見学であったが、映像の視聴時間・人数等を事前に知らせていただいたため計画を立てやすかった。

まあまあ満足

- ・ こちらの質問に丁寧に答えていただきました。
- ・ 質問等対応をお願いしたが対応日が2日だけだったので。

普通、無回答

- ・ 旅行会社が予約したためわかりません（複数）
- ・ 予約なしで訪問

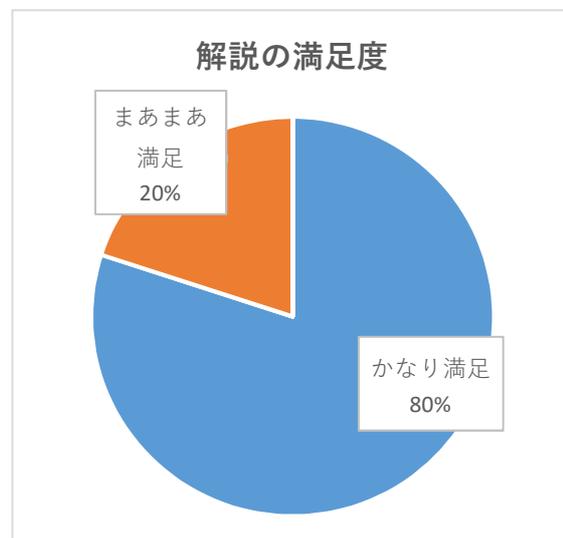


かなり満足

- ・ 体験が多い。いろいろな視点から紹介している。展示方法を工夫している。
- ・ 修学旅行の行先について、事前学習にぴったりの内容だった。
- ・ 子ども達は実際の発掘現場の再現に興味を持ったようでした。
- ・ 子ども達の興味をひく工夫がたくさんあった。
- ・ 平泉について広く知ることができたため。

まあまあ満足

- ・ 分かりやすかった。シアターが見られなかったのが少し残念。

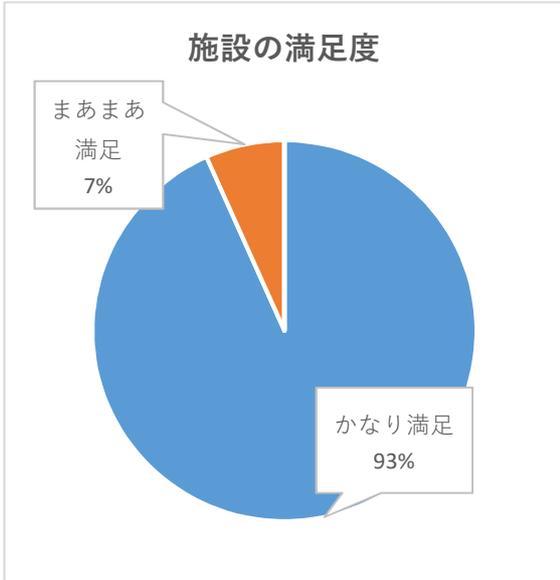


かなり満足

- ・ 子ども達の反応を見ながら丁寧にさせていただきました。
- ・ 学習させたいところをピンポイントで解説していただきました。
- ・ スタッフの方の説明が分かりやすい。
- ・ 平泉について全体像がわかる。この後に文化遺産センターに行くとさらに詳しくわかる。

まあまあ満足

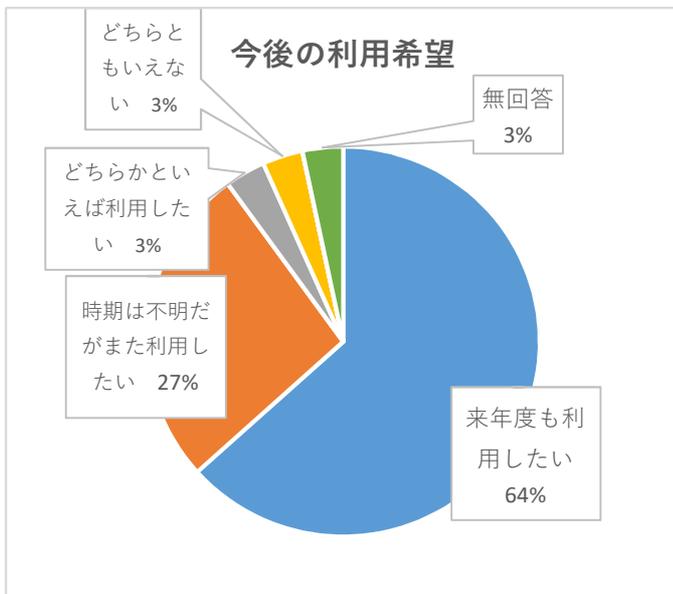
- ・ 説明が長く、生徒が自由に見る時間がない。
- ・ 時間が短くてもっとゆっくりお話を聞けると良かったと思います。



かなり満足

- ・ 駐車場が広い、新しくきれい、無料、見学するのにありがたいと思いました。
- ・ シアターやタッチパネルの解説など子ども達が興味を持つものが様々ありました。
- ・ ロッカーなどもあってよかった。
- ・ 広く、静かで、落ち着いて見学できた。
- ・ 新しく清潔感があり、広くゆったりとしたスペースは展示物も見やすい。
- ・ 柳之御所跡が見渡せるステキな施設です。

6 今後の利用希望



来年度の利用を希望する学校が19校。うちすでに予約しているのは、小学校1、中学校1

※アンケート以外も含めた予約校は小学校2、中学校4

アンケートに回答した学校の9割が今後も利用することを希望している。

岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター御来館アンケート

該当箇所にを入れていただくとともに、記載をお願いいたします。

1 御来館された方について教えてください。

学校種別： 小学校 中学校 高等学校 その他 (_____)

学年： _____ 年生

人数： _____ 人 クラス数： _____ クラス

2 来館目的を教えてください。

修学旅行 校外学習 その他 (具体的に _____)

3 当センターを何でお知りになりましたか (あてはまるものいくつか可)

旅行会社 テレビ ラジオ 新聞 雑誌 SNS インターネット

当センターの公式サイト (ホームページ、ツイッター) 家族・友人・知人の紹介

その他 (具体的に _____)

4 施設見学の満足度について教えてください。

予約時対応 かなり満足 まあまあ満足 普通 少し不満 かなり不満
(その理由 _____)

展示内容 かなり満足 まあまあ満足 普通 少し不満 かなり不満
(その理由 _____)

解説 かなり満足 まあまあ満足 普通 少し不満 かなり不満
(その理由 _____)

施設 かなり満足 まあまあ満足 普通 少し不満 かなり不満
(その理由 _____)

5 今後の御利用について教えてください。

来年度も利用したい 時期は不明だがまた利用したい どちらかといえば利用したい

どちらともいえない あまり利用したくない 利用しない

6 当センターへの御意見、御要望について自由に記入願います。

御回答ありがとうございました。

11月30日(水)までに同封の返信用封筒に入れて返送願います。

FAXで送信しても構いません。(FAX番号 0191-34-7378)

メールの場合は次のアドレスにお送りください (あて先 AK0006@pref.iwate.jp)

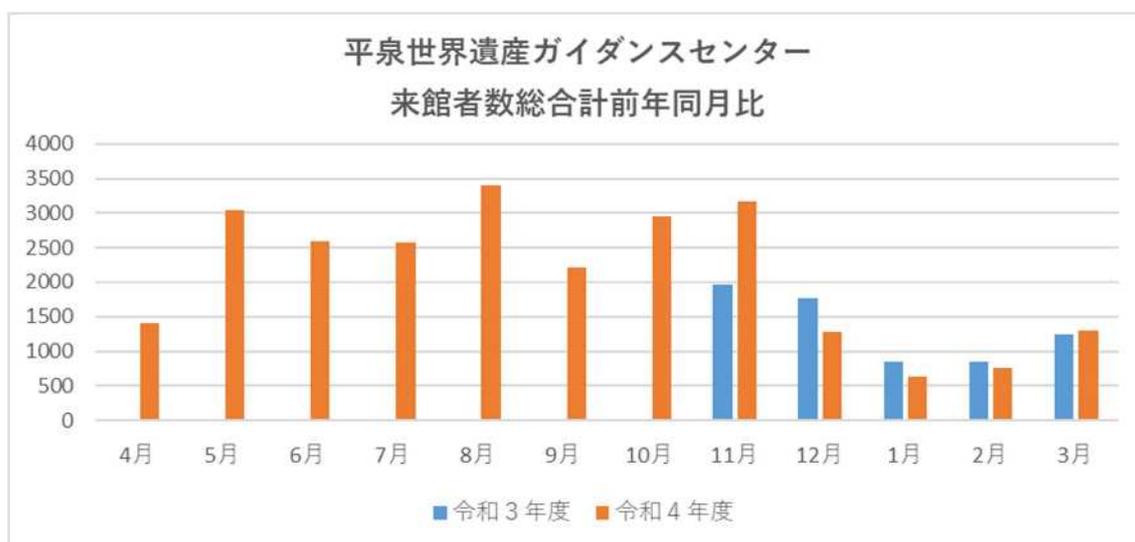
来館者数

【令和3年度】 ※団体は20人以上

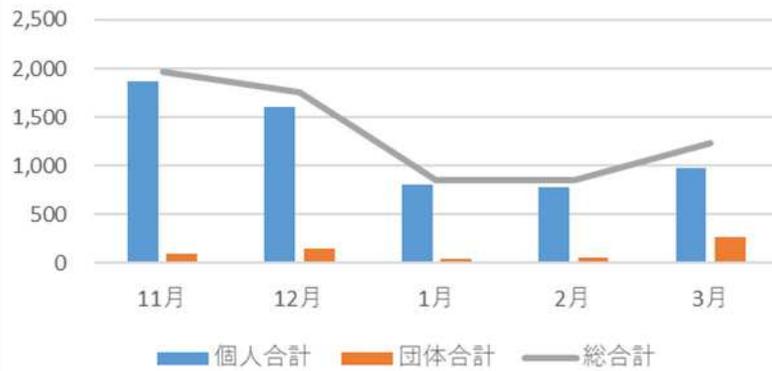
区分	個人利用						団体利用						合計
	一般～64	一般65～	高・学生	小中学生	幼	小計	一般～64	一般65～	高・学生	小中学生	幼	小計	
11	1,030	655	63	72	50	1,870	16	52	25	0	0	93	1,963
12	915	555	35	68	33	1,606	44	69	30	9	0	152	1,758
1	479	260	24	20	19	802	31	20	0	0	0	51	853
2	503	208	33	23	18	785	13	18	0	30	0	61	846
3	545	311	56	42	21	975	46	0	216	0	0	262	1,237
計	3,472	1,989	211	225	141	6,038	150	159	271	39	0	619	6,657
平均	694	398	42	45	28	1,208	30	32	54	8	0	124	1,331

【令和4年度】 ※団体は20人以上

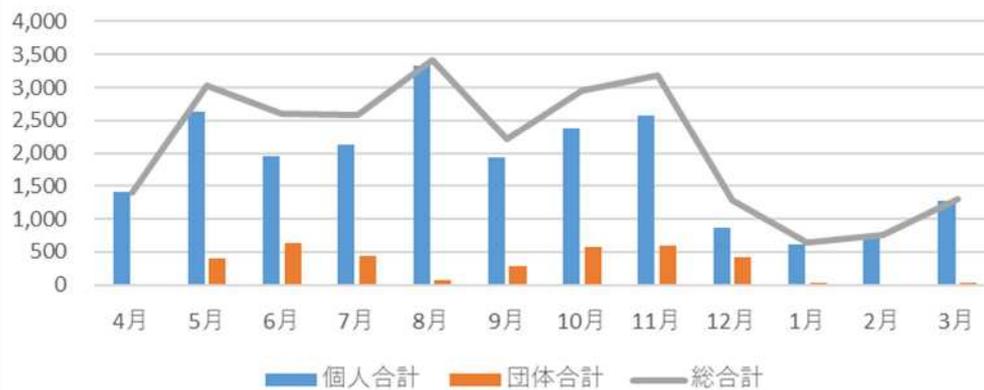
区分	個人利用						団体利用						合計
	一般～64	一般65～	高・学生	小中学生	幼	小計	一般～64	一般65～	高・学生	小中学生	幼	小計	
4	971	283	45	79	27	1,405	0	0	0	0	0	0	1,405
5	1,824	598	68	104	35	2,629	46	42	0	321	0	409	3,038
6	1,257	516	29	109	48	1,959	102	155	79	303	0	639	2,598
7	1,479	421	56	131	49	2,136	99	100	0	238	0	437	2,573
8	2,136	495	311	306	82	3,330	12	27	20	21	0	80	3,410
9	1,235	381	197	103	26	1,942	43	38	59	137	0	277	2,219
10	1,530	695	74	62	14	2,375	188	172	0	219	0	579	2,954
11	1,643	690	51	138	60	2,582	90	106	75	322	0	593	3,175
12	548	280	12	19	8	867	34	49	212	118	0	413	1,280
1	383	145	33	43	9	613	26	0	0	0	0	26	639
2	488	137	63	38	16	742	4	17	0	0	0	21	763
3	753	285	119	93	20	1,270	3	3	0	17	0	23	1,293
計	14,247	4,926	1,058	1,225	394	21,850	647	709	445	1,696	0	3,497	25,347
累計	17,719	6,915	1,269	1,450	535	27,888	797	868	716	1,735	0	4,116	32,004
平均	1,187	411	88	102	33	1,821	54	59	37	141	0	291	2,112



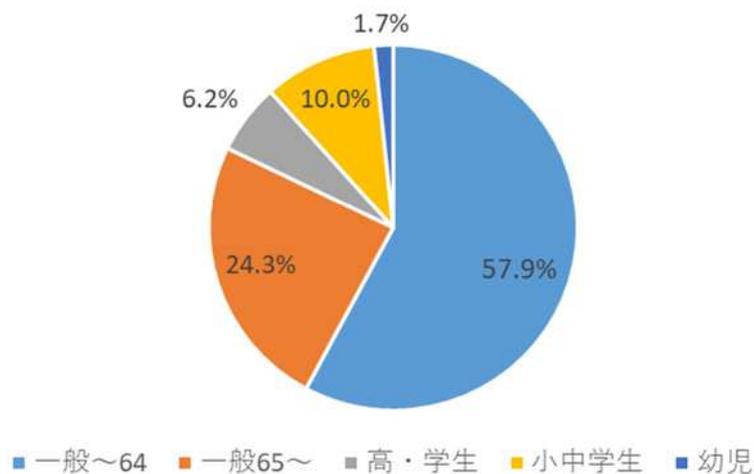
平泉世界遺産ガイダンスセンター
令和3年度月別来館者数合計



平泉世界遺産ガイダンスセンター
令和4年度月別来館者数合計



来館者年代別割合（令和3・4年度合計）



施設の運営形態

1 組織

令和3年度の開館から令和4年度末まで県直営（一部業務委託）

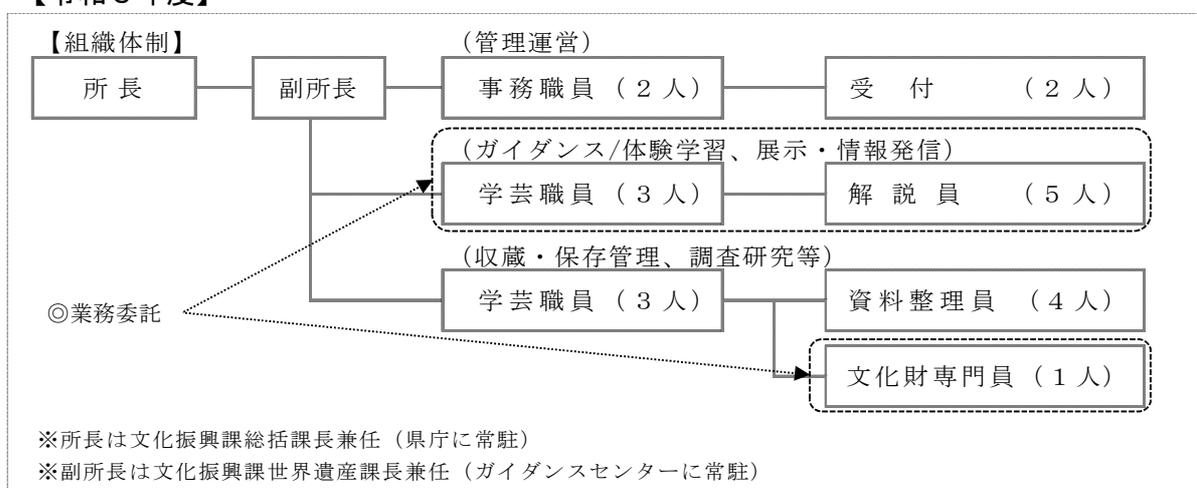
名誉館長 近藤誠一

（平成22～24年文化庁長官、現 国際ファッション専門職大学学長）

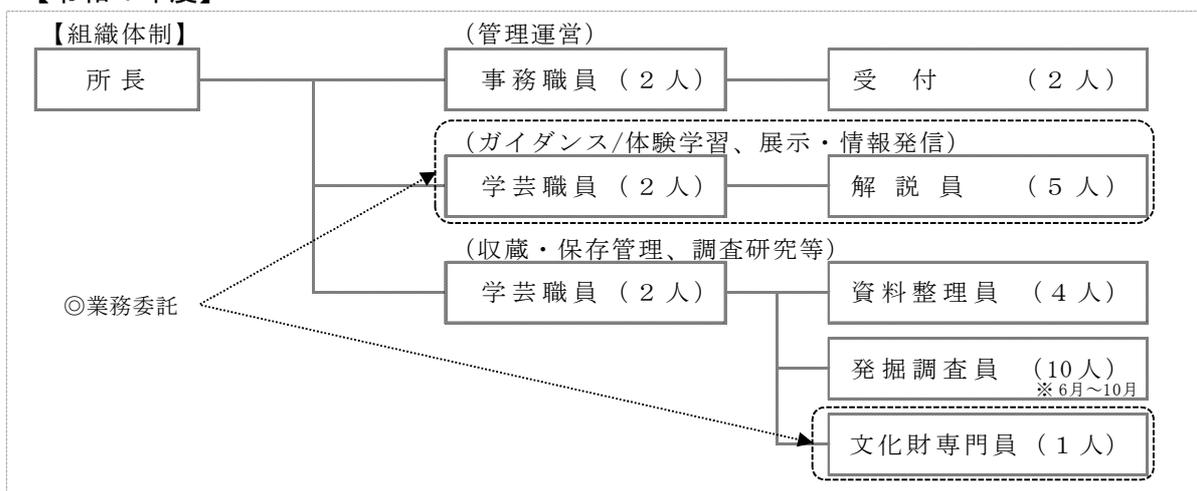
館長 菅野洋樹

（平成23～25年度 岩手県教育委員会教育長）

【令和3年度】



【令和4年度】



2 運営協議会

岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンターの事業運営に関する事項を調査審議するため、岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター運営協議会を設置し、以下のとおり開催した。

【令和3年度】

- (1) 開催日：令和4年3月25日（金）
- (2) 出席者：委員12名、事務局5名（取材2名）
- (3) 議 題：会長等選出、当センターについて、令和3年度の運営状況、
令和4年度事業計画等

【令和4年度】

- (1) 開催日：令和5年2月6日（月）
- (2) 出席者：委員9名、事務局5名
- (3) 議 題：令和4年度の運営状況、令和5年度の予定等

ガイドンスセンターの役割

基本理念

「平泉」の価値を広く世界中に伝え、人類の共通の財産として後世へ継承するための拠点施設

基本方針

- 1 世界中の人々が世界遺産「平泉」の価値を理解できる、国際的な視野に立った施設
- 2 「平泉の文化遺産」周遊の出発点として、個々の構成資産を訪問する契機を提供する施設
- 3 柳之御所遺跡をはじめとする「平泉の文化遺産」関連資料を、後世へと継承できる施設
- 4 平泉文化の多角的な調査・研究と研究者の交流の拠点として、学術情報が集積し活用される施設
- 5 歴史・文化に関心を持ち、世界遺産や文化財保護について主体的に学び活動する人材の育成に寄与する施設

○平泉世界遺産ガイダンスセンター条例

令和3年7月12日条例第36号

平泉世界遺産ガイダンスセンター条例をここに公布する。

平泉世界遺産ガイダンスセンター条例
(設置)

第1条 県民をはじめ広く国内外の人々の平泉世界遺産(世界遺産一覧表(世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約第11条2に規定する一覧表をいう。)に記載された平泉の文化遺産をいう。)その他の平泉の文化遺産に対する理解を深めることにより、これを将来の世代に継承するとともに、文化の発展に寄与するため、平泉世界遺産ガイダンスセンター(以下「センター」という。)を次のとおり設置する。

名 称	位 置
岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター	西磐井郡平泉町

(指定管理者による管理)

第2条 センターの管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定に基づき知事が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせる。ただし、指定管理者に管理を行わせることができないやむを得ない事情がある場合は、この限りでない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第3条 指定管理者は、この条例の規定により指定管理者が行うこととされた業務のほか、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (2) その他センターの利用の促進に関する業務

(行為の許可)

第4条 センターにおいて、資料の撮影、模写、模造等をしようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

2 センターにおいて、次に掲げる行為をしようとする者は、指定管理者(知事がセンターの管理を行う場合にあっては、知事。第7条第1項において同じ。)の許可を受けなければならない。

- (1) 物品の販売、募金その他これらに類する行為をすること。
- (2) センターの全部又は一部を独占して使用すること。

3 知事又は指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、前2項の許可に条件を付することができる。

(行為の禁止)

第5条 センターにおいては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 施設、設備又は資料を汚損し、損傷し、又は亡失すること。
- (2) 指定された場所以外の場所にはり紙若しくははり札をし、又は広告を表示すること。
- (3) 静粛を害し、他人に迷惑をかけること。
- (4) 木竹を伐採し、若しくは植物を採取し、又はこれらを損傷すること。
- (5) 土地の形状を変更し、又は土石を採取すること。
- (6) 喫煙し、又は指定された場所以外の場所で飲食をすること。
- (7) 立入禁止区域に立ち入ること。
- (8) 指定された場所以外の場所に自動車等を乗り入れ、又は駐車すること。

(許可の取消し等)

第6条 知事は、次の各号のいずれかに該当する場合は、第4条第1項又は第2項(知事がセンターの管理を行う場合に限る。以下この項において同じ。)の許可を受けた者に対し、当該許可を取り消し、その効力を停止し、同条第3項の条件を変更し、又は行為の中止、原状の回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例の規定による処分に違反したとき。
 - (2) 第4条第3項の条件に違反したとき。
 - (3) 偽りその他の不正な手段により第4条第1項又は第2項の許可を受けたとき。
 - (4) センターの管理上必要があると認めるとき。
 - (5) その他公益上やむを得ない必要が生じたとき。
- 2 前項の規定は、第4条第2項（指定管理者がセンターの管理を行う場合に限る。）の許可について準用する。この場合において、前項中「知事」とあるのは、「指定管理者」と読み替えるものとする。
（損害賠償等）
- 第7条** 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失した者は、指定管理者の指示するところにより原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。
- 2 前項の規定は、資料について準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは、「知事」と読み替えるものとする。
（補則）
- 第8条** この条例の実施に関し必要な事項は、知事が定める。
- 附 則**
- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、第2条、第3条及び第6条第2項の規定は、令和5年4月1日から施行する。（令和3年11月規則第68号で、同3年11月20日から施行）
- 2 この条例の施行の日から令和5年3月31日までの間においては、第4条第2項中「指定管理者（知事がセンターの管理を行う場合にあつては、知事。第7条第1項において同じ。）」とあるのは「知事」と、同条第3項中「知事又は指定管理者」とあるのは「知事」と、第7条第1項中「指定管理者」とあるのは「知事」と、同条第2項中「準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは、「知事」と読み替えるものとする。」とあるのは「準用する。」と読み替えるものとする。
- 3 柳之御所史跡公園条例（平成22年岩手県条例第20号）の一部を次のように改正する。
次のよう（省略）

【令和4年12月22日 一部改正】

○平泉世界遺産ガイダンスセンター条例

令和3年7月12日条例第36号

平泉世界遺産ガイダンスセンター条例をここに公布する。

平泉世界遺産ガイダンスセンター条例
（設置）

第1条 県民をはじめ広く国内外の人々の平泉世界遺産（世界遺産一覧表（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約第11条2に規定する一覧表をいう。）に記載された平泉の文化遺産をいう。）その他の平泉の文化遺産に対する理解を深めることにより、これを将来の世代に継承するとともに、文化の発展に寄与するため、平泉世界遺産ガイダンスセンター（以下「センター」という。）を次のとおり設置する。

名 称	位 置
岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター	西磐井郡平泉町

（指定管理者による管理）

第2条 センターの管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせる。ただし、指定管理者

に管理を行わせることができないやむを得ない事情がある場合は、この限りでない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第3条 指定管理者は、この条例の規定により指定管理者が行うこととされた業務のほか、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設及び設備の維持管理に関する業務
 - (2) その他センターの利用の促進に関する業務
- (行為の許可)

第4条 センターにおいて、資料の撮影、模写、模造等をしようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

2 センターにおいて、次に掲げる行為をしようとする者は、指定管理者(知事がセンターの管理を行う場合にあつては、知事。第7条第1項において同じ。)の許可を受けなければならない。

- (1) 物品の販売、募金その他これらに類する行為をすること。
- (2) センターの全部又は一部を独占して使用すること。

3 知事又は指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、前2項の許可に条件を付することができる。

(行為の禁止)

第5条 センターにおいては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 施設、設備又は資料を汚損し、損傷し、又は亡失すること。
- (2) 指定された場所以外の場所にはり紙若しくははり札をし、又は広告を表示すること。
- (3) 静粛を害し、他人に迷惑をかけること。
- (4) 木竹を伐採し、若しくは植物を採取し、又はこれらを損傷すること。
- (5) 土地の形状を変更し、又は土石を採取すること。
- (6) 喫煙し、又は指定された場所以外の場所で飲食をすること。
- (7) 立入禁止区域に立ち入ること。
- (8) 指定された場所以外の場所に自動車等を乗り入れ、又は駐車すること。

(許可の取消し等)

第6条 知事は、次の各号のいずれかに該当する場合は、第4条第1項又は第2項(知事がセンターの管理を行う場合に限る。以下この項において同じ。)の許可を受けた者に対し、当該許可を取り消し、その効力を停止し、同条第3項の条件を変更し、又は行為の中止、原状の回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例の規定による処分に違反したとき。
- (2) 第4条第3項の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他の不正な手段により第4条第1項又は第2項の許可を受けたとき。
- (4) センターの管理上必要があると認めるとき。
- (5) その他公益上やむを得ない必要が生じたとき。

2 前項の規定は、第4条第2項(指定管理者がセンターの管理を行う場合に限る。)の許可について準用する。この場合において、前項中「知事」とあるのは、「指定管理者」と読み替えるものとする。

(損害賠償等)

第7条 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失した者は、指定管理者の指示するところにより原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。

2 前項の規定は、資料について準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは、「知事」と読み替えるものとする。

(補則)

第8条 この条例の実施に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、第2条、第3条及び第6条第2項の規定は、令和5年4月1日から施行する。（令和3年11月規則第68号で、同3年11月20日から施行）
- 2 この条例の施行の日から令和5年3月31日までの間においては、第4条第2項中「指定管理者（知事がセンターの管理を行う場合にあつては、知事。第7条第1項において同じ。）」とあるのは「知事」と、同条第3項中「知事又は指定管理者」とあるのは「知事」と、第7条第1項中「指定管理者」とあるのは「知事」と、同条第2項中「準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは、「知事」と読み替えるものとする。」とあるのは「準用する。」と読み替えるものとする。
- 3 柳之御所史跡公園条例（平成22年岩手県条例第20号）の一部を次のように改正する。
次のよう（省略）

附 則（令和4年12月22日条例第60号）

- 1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 平泉世界遺産ガイダンスセンター条例第2条に規定する指定管理者の候補者で議会の議決を経たものは、この条例の施行前においても、この条例による改正後の平泉世界遺産ガイダンスセンター条例別表に掲げる金額の範囲内で、知事の承認を受けて同条例第8条第1項に規定する利用料金（以下「利用料金」という。）を定めることができる。
- 3 知事は、前項の承認をしたときは、速やかに当該承認をした利用料金を告示する。

○平泉世界遺産ガイダンスセンター条例の施行期日を定める規則

令和3年11月19日岩手県規則第68号

平泉世界遺産ガイダンスセンター条例の施行期日を定める規則をここに公布する。

平泉世界遺産ガイダンスセンター条例の施行期日を定める規則

平泉世界遺産ガイダンスセンター条例（令和3年岩手県条例第36号）の施行期日は、令和3年11月20日とする。

○平泉世界遺産ガイダンスセンター条例施行規則

令和3年11月19日規則第69号

平泉世界遺産ガイダンスセンター条例施行規則をここに公布する。

平泉世界遺産ガイダンスセンター条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、平泉世界遺産ガイダンスセンター条例(令和3年岩手県条例第36号。以下「条例」という。)の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター(以下「センター」という。)の休館日は、次のとおりとする。

(1) 毎月末日(12月にあつては、28日)。ただし、その日が日曜日に当たるときはその前々日、土曜日に当たるときはその前日(4月にあつては、その前々日)と、4月30日が月曜日に当たるときは4月27日とする。

(2) 12月29日から翌年1月3日まで

2 センターの所長(以下「所長」という。)は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(開館時間)

第3条 センターの開館時間は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める時間とする。

(1) 4月1日から10月31日までの期間 午前9時から午後5時まで。ただし、入館時間は、午後4時30分まで

(2) 11月1日から翌年3月31日までの期間 午前9時から午後4時30分まで。ただし、入館時間は、午後4時まで

2 所長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間及び入館時間を臨時に変更することができる。

(撮影等の許可)

第4条 条例第4条第1項の規定による許可を受けようとする者は、別に定める様式による資料撮影等許可申請書又は別に定める様式による資料貸出許可申請書を所長に提出しなければならない。

2 所長は、条例第4条第1項の規定による許可をしたときは、別に定める様式による資料撮影等許可書又は別に定める様式による資料貸出許可書を交付するものとする。

3 資料の貸出期間は、30日以内とする。ただし、所長が特に必要と認めるときは、その期間を延長することができる。

4 資料の貸出しを受けた者が、当該資料を汚損し、損傷し、又は亡失したときは、速やかに、別に定める様式による資料汚損(損傷、亡失)報告書を所長に提出し、その指示を受けなければならない。

(物品の販売等の許可)

第5条 条例第4条第2項の規定による許可(以下「許可」という。)を受けようとする者は、別に定める様式によるセンター内行為許可申請書を所長に提出しなければならない。

第6条 次に掲げる事項は、許可の条件とする。

(1) 使用施設内の火気取締り並びに施設及び設備の保安管理に留意すること。

(2) 条例第4条第2項各号に掲げる行為を終了したとき、又は条例第6条第1項の規定に基づき許可を取り消されたときは、所長の指示に従って、速やかに後片付けその他の整理整頓をすること。

(3) めいてい者、火薬、凶器等の危険物を携帯する者等でセンター内の秩序又は風俗を

乱すおそれがあると認められるものを入館させないこと。

(4) その他センターの維持管理のためにする所長の指示に従うこと。

(汚損等の届出)

第7条 施設、設備又は資料を汚損し、損傷し、又は亡失した者（第4条第4項の規定の適用を受ける者を除く。）は、速やかに所長に届け出てその指示を受けなければならない。

附 則

この規則は、令和3年11月20日から施行する。

岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター運営協議会設置要綱

(趣旨)

第1 岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター（以下「センター」という。）の事業運営に関する事項を調査審議するため、岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター運営協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2 協議会は、岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター館長（以下「館長」という。）の諮問に応じ、次に掲げる事項の調査・審議を行う。

- (1) センターの展示事業に関すること。
- (2) センターの教育普及事業に関すること。
- (3) センターと大学等の学術研究機関、国内外の世界遺産の保全に係る関係団体等との連携に関すること。
- (4) その他センターの事業運営に関すること。

(組織)

第3 協議会は、委員 12 人以内をもって組織し、優れた識見を有する者のうちから、館長が委嘱する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4 協議会に、会長及び副会長1名を置く。

- 2 会長は、委員の互選によって定める。
- 3 副会長は、委員のうちから会長が指名する。
- 4 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5 協議会は、館長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6 協議会の庶務は、センターにおいて処理する。

(雑則)

第7 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和4年2月4日から施行する。
- 2 この要綱に基づき委嘱された最初の委員の任期は、第3第2項の規定にかかわらず、令和5年3月31日までとする。

岩手県立平泉世界遺産ガイドセンター運営協議会委員名簿

令和4年2月4日～令和5年3月31日

	氏名	所属・役職等	期間
	鈴木 常義	奥州市世界遺産推進室・室長	R3,4
副会長	相馬 美貴子	一関市博物館・主幹	R3,4
	千葉 登	平泉町世界遺産推進室・室長	R3
	高橋 国博	平泉町世界遺産推進室・室長	R4
	千葉 浩	一関市骨寺荘園室・室長	R3
	氏家 克典	一関市骨寺荘園室・室長	R4
	中村 佳子	岩手日日新聞社中部支社・記者	R3,4
	滑川 敦子	宮城県教育庁文化財課・技師	R3,4
会長	平原 英俊	岩手大学平泉文化研究センター・所長	R3,4
	福德 潤	県南教育事務所・所長	R3
	高橋 長兵	県南教育事務所・所長	R4
	本堂 若子	平泉小学校・教諭	R3,4
	松本 数馬	一社)世界遺産平泉・一関 DMO・代表	R3,4
	山田 麻紀	岩手県観光協会・観光振興部長	R3
	嵯峨 真理子	岩手県観光協会・観光振興部長	R4
	和田 英子	岩手県世界遺産保存活用推進協議会・事務局	R3
	阿部 美登利	岩手県世界遺産保存活用推進協議会・事務局	R4

(敬称略、五十音順)

岩手県立平泉世界遺産ガイドンスセンター年報
令和3年度・令和4年度

令和5年12月12日発行

岩手県立平泉世界遺産ガイドンスセンター
〒029-4102 西磐井郡平泉町平泉字伽羅楽 108-1
電話 0191-34-7377 FAX 0191-34-7378
<https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/information>

岩手県文化スポーツ部文化振興課
〒020-8570 盛岡市内丸 10-1
電話 019-629-6488 FAX 019-629-6484